

## 内容

1. 目録はどう変わるのか .....	4
(1) AACR2 から RDA へ —なぜ変わらなければならないのか— .....	4
(2) 記述データのサンプル .....	4
2. RDA の外観 .....	5
(1) RDA-Toolkit の紹介 .....	5
(2) 冊子体の紹介 .....	5
3. RDA の構成 .....	5
(1) 目次の概観 .....	5
(2) 実体と属性と関連 .....	5
(3) 目次の構成 .....	6
(4) Work、Expression、Manifestation、Item .....	7
4. これからの目録の役割 .....	8
(1) 蔵書目録からアクセスツールへ .....	8
(2) 典拠リンクについて .....	8
(3) 件名、書誌分類について .....	8

## 第1回プロローグ RDA とはどのようなものか

## 1. 目録はどう変わるのか

## (1) AACR2 から RDA へ —なぜ変わらなければならないのか—

- ① 対象資料の多様化
  - AACR2：紙の資料がおもな対象  
→ ビデオ、DVD、CD、電子出版、コンピューターファイル等のメディア、映像、音楽、音声などの多様なコンテンツに対応
- ② 使用地域の拡大
  - AACR2：Anglo-American の規則だが、25 言語に翻訳され、45 カ国で使用  
→ 多様な地域で使用する事を前提とした規則
- ③ 多様なシステム
  - AACR2：目録カードに記入するための規則  
→ 不特定のデータベースに対応
- ④ その他
  - 出版件数の増加による目録業務の負担増  
→ 目録作業の省力化
  - 利用者のニーズに応える  
→ 利用者が必要としている機能は何か、そのために必要な情報は何か
  - (とはいえ) AACR2 との連続性  
→ 従来のデータとの連続性を維持する

## (2) 記述データのサンプル

RDA REF	RDA ELEMENT	DATA RECORDED
2.3.2	Title proper	The organization of information
2.4.2	Statement of responsibility relating to title proper	Arlene G. Taylor
2.5.2	Designation of edition	Second edition
2.8.2	Place of publication	Westport, Connecticut
2.8.2	Place of publication	London
2.8.4	Publisher's name	Libraries Unlimited, a member of the Greenwood Publishing Group
2.8.6	Date of publication	2004
2.12.2	Title proper of series	Library and information science text series
2.13	Mode of issuance	single unit
2.15	Identifier for the manifestation	ISBN 1-56308-976-9
2.15	Identifier for the manifestation	ISBN 1-56308-969-6 (paperback)
3.2	Media type	unmediated
3.3	Carrier type	volume
3.4	Extent of text	xxvii, 417 pages
3.5	Dimensions	26 cm
4.3	Contact information	<a href="http://www.lu.com">http://www.lu.com</a>
6.9	Content type	text
7.16	Supplementary content	Includes bibliography and index
17.8	Work manifested <sup>1</sup>	Taylor, Arlene G., 1941- . Organization of information
19.2	Creator	Taylor, Arlene G., 1941-
18.5	Relationship designator	author
25.1	Related work <sup>2</sup>	Library and information science text series
24.5	Relationship designator	in series (work)

- 入力エリア、入力フィールド、区切り記号を規定していない
- "2nd ed." ではなく "Second edition"
- "Conn." ではなく "Connecticut"
- "Media type"、"Carrier type"、"Content type" の新設
- "pbk." ではなく "paperback"
- "p." ではなく "pages"
- "Related work" の新設

## 2. RDA の外観

- (1) RDA-Toolkit の紹介
- (2) 冊子体の紹介

## 3. RDA の構成

### (1) 目次の概観

- ① AACR2 の目次と目録カード
  - 前半：書誌、後半：標目
  - 総則の後に、資料種別ごとに規定
  - 各章について、目録カードに記録する順に規定
- ② コーディングマニュアルの目次と入力画面
  - 入力フィールドとコーディングマニュアルの項目が対応している
  - カードに記入するための AACR2 を使用して、NACSIS-CAT に入力するためにコーディングマニュアルが存在する
- ③ RDA の目次
  - 資料種別に分かれていない

### (2) 実体と属性と関連

- ① 「実体」の3つのグループ
  - 第1グループ：資料
  - 第2グループ：個人・家族・団体
  - 第3グループ：概念・物・出来事・場所
- ② 属性
  - 第1グループ：資料  
タイトル、責任表示、出版者、大きさ、など
  - 第2グループ：個人・家族・団体  
名前など
  - 第3グループ：概念・物・出来事・場所  
名称など

## 第1回プロローグ RDA とはどのようなものか



## ③ 関連

- 「個人・家族・団体」は「資料」を作る、所蔵する、など
- 「資料」は「個人・家族・団体」、「概念・物・出来事・場所」、「資料」を主題として持つ

## ④ 第1グループの4つの実体

- 著作
- 表現形
- 体现形
- 個別資料

## (3) 目次の構成

## ①前半：属性

- 資料の属性 (Section 1、2)
- 個人・家族・団体の属性 (Section 3)
- 概念・物・出来事・場所の属性 (Section 4)

## ②後半：関連

- 関連には「間の」と「への」がある
- 資料の関連
  - ◇ 主要な (Section 5)
  - ◇ その他の (Section 8)
- 個人・家族・団体の関連
  - ◇ 資料との (Section 6)
  - ◇ グループ間の (Section 9)
- 概念・物・出来事・場所
  - ◇ 資料との (Section 7)
  - ◇ グループ間の (Section 10)

## ③付録

- Capitalization

- Abbreviations
- Initial articles

## (4) Work、Expression、Manifestation、Item

## ① 定義・意味

## (ア) Work (著作)

- 「個別の知的・芸術的創造」(FRBR)
- 漠然と作品を指し示す
- 具体化されていない
- 統一書名典拠のイメージ  
例えば、
  - 『イーリアス』を英訳本で読みたい。
  - 『竹取物語』って、最後はどうなるんだっけ？
  - 『源氏物語』は世界最古の小説なのか。
  - あなたは『ノルウェイの森』を読んだ事がありますか？

## (イ) Expression (表現形)

- 「著作の知的・芸術的実現」(FRBR)
- 著作が言語や版により特定される

## (ウ) Manifestation (体現形)

- 「著作の表現形の物理的な具体化」(FRBR)
- 出版事項や形態により特定される
- 現在書誌レコード(単行書)を作成しているレベル

## (エ) Item (個別資料)

- 「体現形の単一の例示」(FRBR)
- 個々の1冊1冊の本
- バーコード番号(資料ID)により特定される
- 単行書の所蔵レコードに相当

## ② 具体例

## (ア) 高津春繁著『基礎ギリシア語文法』

13刷 ペーパーバック



12刷 ハードカバー



『ギリシヤ語讀本』



## 第1回プロローグ RDA とはどのようなものか

## (イ) 村上春樹著『ノルウェイの森』

単行本

『村上春樹全作品』に  
収められているもの

文庫本（新）



文庫本（旧）



英語訳



中国語訳版



映画 DVD



映画 Blu-Ray



## 4. これからの目録の役割

- (1) 蔵書目録からアクセスツールへ
- (2) 典拠リンクについて
- (3) 件名、書誌分類について

## 参考資料

- (1) RDA-Toolkit: <http://www.rdatoolkit.org/>
- (2) FRBR: <http://www.ifla.org/files/assets/cataloguing/frbr/frbr-ja.pdf>
- (3) Hart, Amy (2010), *The RDA primer : a guide for the occasional cataloger*, Linworth
- (4) Oliver, Chris (2010), *Introducing RDA : a guide to the basics*, American Library Association